

三菱マテリアル株式会社 横瀬工場 見学会

三菱マテリアル株式会社横瀬工場(埼玉県秩父郡横瀬町)では、道路、橋梁、港湾、空港、ビル、住宅、上・下水道など社会インフラ整備に不可欠の基礎素材である「セメント」を製造しています。横瀬工場は、昭和44年に操業を開始し、今年で50周年になりますが、日本の中では2番目に新しい工場です。工場は、建設当初から、諸設備を合理的に配置するとともに、中央制御方式を採用し、すべての工程に亘って自動化を進めており、少数の人員で操業を行なう、とても生産性の高い工場です。

また、セメント製造に必要な原料や熱エネルギーの代替物として、産業廃棄物の受入処理を積極的に行なっています。セメント工場における廃棄物処理は、処理後の焼却灰が発生せず、最終処分場の残余容量に影響しないことや、1,450℃という高温の回転窯の中で焼成されるため、ダイオキシン類がほとんど発生しないことなど、循環型社会構築の担い手として、期待が高まっています。現在ではセメント1t当たり535kg(2018年度実績)もの廃棄物・副産物を使用しています。

また横瀬工場は、自然豊かな秩父地域にあり、シンボルである武甲山(標高1,304m)の麓に立地され、工場内の緑化も進んでいてとても綺麗な工場です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



三菱マテリアル株式会社 横瀬工場 (埼玉県秩父郡)



緑化の進んだ工場内



キルンとプレヒーター